

JA安芸



Vol.55

農協だより

農業振興対策本部
(082) 822-0104

URL: <http://www.ja-aki.jp> 平成 23 年 3 月

稲作講習会



内容 ☆健苗育苗と田植後の管理まで
☆除草剤の効果的な使用方法について *午前部・10:00より *午後部・1:30より

時間

| 日時 | 3月7日(月) | | 3月8日(火) | | 3月9日(水) | | 3月10日(木) | | 3月11日(金) | |
|----|------------|------------|-------------|-------------|-------------|------------|------------|------------|-------------|-------------|
| | 午前 | 午後 | 午前 | 午後 | 午前 | 午後 | 午前 | 午後 | 午前 | 午後 |
| 会場 | 畑賀支店 2階 | 阿戸支店 2階 | 上瀬野支店 3階 | 中須賀支店 2階 | 東海田支店 2階 | 中野支店 2階 | 萩原支店 2階 | 瀬野支店 2階 | 新宮 老人集会所 | 初神 老人集会所 |

今年は3年ぶりに稲作ごよみを改正しました。大きな変更はありませんが、より見やすく、分かりやすくなりました。新規資材・変更点を中心に講習いたしますので、皆様お誘いの上、お気軽にご参加ください。



活菜倶楽部の講習会



2月7日畑賀支店、8日萩原支店、9日坂支店にて「春播き野菜講習会」を開催し、野菜の品種と作型について紹介しました。出席者に種と肥料との注文を会員割引で受けました。平成22年12月末の累計売上高は62,521,000円で累計点数466,947点でした。馬上会長から「昨年3月でAコープ萩原店が閉店しましたが、会員皆さまの力で前年度を上回っています。また、年間を通じてキャベツ、人参、たまねぎの需要がある為、これらを商品棚から切れないようにしてもらいたい。空いている畑があれば、手間が掛からず単価のあるカボチャを作付してください。」が挨拶ありました。

JA農産物検査協議会

2月1日広島県JA農産物検査協議会へJA安芸の検査員4人が出席しました。平成22年度産米の品質状況、検査結果、適正な検査証明の実施、検査精度の向上などの講義を受けました。実地研修においても近年懸念されている高温障害での乳白粒の基準検査判断の研修を受講しました。これからも公正かつ適正な検査を行っていきます。

温湯消毒のお知らせ

- ① 3月17日(木)
- ② 3月23日(水)
- ③ 3月24日(木)
- ④ 3月28日(月)
- ⑤ 4月6日(水)
- ⑥ 4月7日(木)
- ⑦ 4月21日(木)
- ⑧ 4月22日(金)
- ⑨ 5月2日(月)

場所：安芸区阿戸町JA安芸育苗センター

- 原則として更新種子の種粒を使用してください。
(何年も更新していないと、防除効果が劣ります)
- 時間は午前10時から午後5時までです。
- 1回の消毒量は8kgまでです。
- 日時、回数が決まり次第、直接営農指導センターまでご連絡ください。
- 利用料金は消毒1回につき300円です。(TEL 822-0104)
- 塩水選実施の場合は100円増しです。
- 予約時間の10分前までに来てください。
- なるべく2人以上で来てください。
- 必ず長靴を用意してください。
- 希望通りの日時にならない場合があります、予めご了承ください。
- ★今年の種子は休眠が深くなっているようです。より丁寧に種子消毒、浸種を行ってください。

農業講座受講生募集!

来年度も『野菜』の基本的な栽培管理や栽培実習を行い、実際に「見て」「体験」する野菜現地講習会を育苗センターで行います。受講生は初心者から出荷農家までを対象とさせていただきます。5月から12月までの月1回午前9:30から下記の通り開催します。受講料は1人2千円、募集人数は20~30人の予定です。申込方法は、3月22日(火)より各支店購買部に申込用紙を用意しますので、受講希望の方は、4月15日(金)までに申込用紙を各地区購買センターへ提出して下さい。

≪ 講習開催日 ≫

| 月日 | 内容 | 月日 | 内容 |
|----------|-------------|-----------|------------|
| 5月12日(木) | 果菜類初期管理 他 | 9月1日(木) | 葉たまねぎ播種 他 |
| 6月7日(火) | 整枝管理 他 | 10月4日(火) | 冬取り軟弱野菜 他 |
| 7月12日(火) | 夏まき野菜の種まき 他 | 11月15日(火) | トンネルだいこん 他 |
| 8月9日(火) | 冬取りきゃべつ他 | 12月6日(火) | 反省会 |

3月 営農メモ

野菜

今月は昼間の気温も次第に高くなりだいこん、ごぼう、にんじん、はくさい、きゃべつ、ねぎ類、ほうれんそうなどの播種が行えるようになります。

そらまめ

整枝 生育の良い茎を一株当たり6~8本に整理し、下から8節目の花が開花したら茎の先端より5cm程度下側で摘芯後追肥を行きましょう。

灌水 浅根のため乾燥に弱く、開花後の乾燥は着莢や莢の肥大低下となりますので、好天が続く場合灌水を行きましょう。

基寄せ 着莢が見られたら追肥を行い、莢の肥大促進のため基寄せを行きましょう。

摘果 着莢した物をそのまま放任すると肥大不足となりますので、1粒莢は早目に摘果しましょう。

たまねぎ、春きゃべつ

追肥 早生種では3月上旬、中生、晩生種では中旬に追肥を行いますが、追肥が遅れると貯蔵中の腐敗が多くなりますので、収穫65日前頃までに終わる様にして下さい。きゃべつでは結球初めに追肥を行きましょう。

病害虫

べと病や菌核病、軟腐病、アブラムシの被害が開始されます。降雨が多い場合病気が多発しやすいので早目に防除を行きましょう。



水稲

今年の種籾は休眠が深くなっているようです。塩水選・種子消毒を確実に行ってください。何年も種籾を更新していないと品質低下の原因になりますので、2年に1回は種籾の更新を行って下さい。

塩水選

種子消毒の効果をより高めるため、塩水選を行きましょう。
水10ℓに対し塩を2.2kg(もちは1.2kg)を溶き、種籾を沈め水と充分馴染む様攪拌し、浮いた籾には不稔粒や病害虫の影響を受けたものが多いので、ていねいに取り除きます。
塩水選後は流水で塩分を充分に落としてから種子消毒を行います。すぐに消毒しない場合には充分乾燥させてから清潔な場所で保管して下さい。

果樹

果樹の剪定について

剪定の目的

果樹は、秋から春にかけて元肥施用、土づくり、酸土の調整、根づくり、剪定といろいろな作業があります。今回は、石灰硫黄合剤の散布による病害虫の対策についてご紹介します。

特にハダニは、加害時期に使用できる農薬の使用回数が少なく、多発した時には抑えることができません。石灰硫黄合剤は、冬期に使用できて密度を下げるができます。また、春先に葉が縮れる縮葉病については葉に症状がでてからでは防除が難しいので、決められた希釈倍類で防除しておきます。使用に当たって注意を書いておきます。

- ① 展着剤を加用して、調整液は速やかに使用します。
- ② 強アルカリ性なので分解しやすい薬剤との混用は避ける。
- ③ マシン油乳剤散布後は1ヶ月以上間隔をとる。
- ④ 散布した機具は使用後よく洗っておく。

適用と使用法 石灰硫黄合剤

| 作物名 | 適用病害虫名 | 希釈倍数 | 使用時期 | 使用方法 |
|------|------------------------|--------|------|------|
| 果樹類 | ハダニ類・サビダニ類 | 20~40倍 | 冬期 | 散布 |
| 落葉果樹 | カイガラムシ類・ハダニ類・縮葉病・越冬病害虫 | 7倍 | 発芽前 | |
| なし | 黒星病 | 7倍 | 発芽前 | |
| りんご | 腐らん病 | 10倍 | 休眠期 | |
| りんご | 黒星病 | 7倍 | 発芽前 | |
| もも | 縮葉病・胴枯病・黒星病 | 7倍 | 発芽前 | |
| うめ | 縮葉病 | 8倍 | 発芽前 | |
| くり | 芽枯病 | 20~40倍 | 発芽前 | |
| みかん | ハダニ類・そうか病・黒点病・かいよう病 | 20~40倍 | 冬期 | |

種子消毒・浸種

水20ℓに対しテクリードCフロアブル100ml(200倍)+スミチオン乳剤20ml(1,000倍)を溶き、攪拌後消毒します。(籾15kgに対し、薬量20ℓ程度必要です。)

水温が10~30℃取れる場所で消毒して下さい。24時間後、風乾させてから浸種となります。浸種は最初の2日間は薬の効果をあげるため水の入れ替えはせず、3日目より水の交換を行って下さい。(籾の量が多い場合は上下の入れ替えも行って下さい。)

浸種開始後(種子消毒開始後)、水の積算温度が110℃前後で鳩胸状態を確認し、発芽を揃えるため30℃で24時間程度催芽を行って、芽が1mm程度に伸びた籾を播種しましょう。